

## 「事件知ってほしい」 旧群馬町一家 3 人殺害 長女、インスタで発信

1/14(土) 7:00 配信 コメント 56 件 毎日新聞



石井武夫さん(左)と千津子さん=遺族提供

1998年1月、旧群馬町(現群馬県高崎市)の自宅で、勤務先のドラッグストアに出入りするトラック運転手に両親と祖母を殺された女性(45)は、心的外傷後ストレス障害(PTSD)で当時の具体的な記憶を失った。だが昨年春、捜査資料にあたり、徐々に記憶がよみがえってきた。運転手が行方不明のまま、進展しない状況にしびれを切らし、**今月からインスタグラムで発信も始めた**。14日で事件発生から25年。「いつまでも気持ちが事件に縛られている。未解決のままでは終わらせないと強い信念で事件に向き合っている。【川地隆史】

いつもより1時間遅く、勤務先のドラッグストアから家路についた。98年1月14日午後9時ごろ、玄関から2階の自室に上がろうとすると、後に殺人容疑で指名手配される小暮洋史容疑者(53)にいきなり後ろからつかまれ、玄関横の祖母の部屋に連れ込まれた。なんとか振り払うと、小暮容疑者は「取り返しのつかないことをしてしまった」とこぼして立ち去った。廊下にたまった血だまりを見てすぐに110番した。3人の様子を確認できないままパトカーに乗り込んだ。

亡くなったのは父の石井武夫さん(当時48歳)、母千津子さん(同48歳)と祖母トメさん(同85歳)。両親は胸や背中を刺され、トメさんは首を絞められた状態で見つかった。

当時の詳細は覚えていない。「ポーンと一部分が抜け落ちているようだった」。事件から10年ほど経過した頃、調書の取り直しのため、検事から当時について聞かれたが何も話せず、「(自分の)記憶が崩れているのを理解した」と振り返る。

しばらくは事件を遠ざけていた。3人が亡くなった原因が自分にあると思っていたからだ。小暮容疑者は女性にストーカー行為を繰り返していた。車で後をつけたり、自宅に無言電話をかけたりしていた。「私のせいだ」「3人の代わりに私が死んでいれば」と何度も後悔した。

真面目で正義感の強い父に、明るく、遠出が好きな母だった。「いつか一緒に尾瀬に行こうねと言っていたが、口約束のままになってしまった」

事件に対して向き合うようになったのは、殺人事件の被害者遺族でつくる「宙（そら）の会」を知ったのがきっかけだ。2009年に設立された宙の会は同年6月、時効制度廃止を求める嘆願書と賛同する約4万5000人分の署名を法務省に提出。翌年4月には殺人などの罪の公訴時効廃止を柱とする改正刑事訴訟法が成立し、即日施行された。女性はテレビ番組で一連の活動を知り、自身の境遇と重ねて「なにかひかれるものがあった」と、宙の会に参加するようになった。

宙の会は、殺人事件による損害賠償を国が一旦肩代わりする「代執行制度」の実現を訴えている。日本弁護士連合会の18年の調査では、殺人事件50件のうち、賠償金が全額支払われたのは1件のみだった。女性も社会に一石を投じようと、事件から20年が過ぎた18年、小暮容疑者に対して約1億円の損害賠償を求め、前橋地裁高崎支部に民事訴訟を起こした。判決は請求通り小暮容疑者に1億円の支払いを命じたが、逃走中のため今も支払いのめどは立たない。「裁判で勝っても金が入る見込みはなく『絵に描いた餅』。ただ金がほしいのではなく、奪われた命に代わるものとして賠償してほしいだけ」と語る。

失った記憶を取り戻そうと、22年春に県警に頼み、事件当時の自身の調書を捜査員から聞いた。「車で後をつけられていた」というのは調書を聞く中で思い出した記憶だ。「そのときの映像が頭の中を流れた。抜け落ちているものを拾いたいと強く思うようになった」。今年4日には「若い人の目に留まり、事件を知ってほしい」とインスタグラムのアカウント（cold\_case\_1.14）を作り、情報提供の呼びかけや自身が経験したPTSDについて発信し始めた。

3年後には事件当時の両親の年齢に並ぶ。結婚し、二人の子どもを育てる女性は、子どもの成長に喜びを感じると同時に「親もこんな気持ちで子育てしていたのかな」と思いをはせる。25年たった今も思いは変わらない。「逮捕につながる情報が一つでも多く入ってほしい。捕まらないことには終われない」

◇旧群馬町一家3人殺害事件 1998年1月14日夜、群馬町(現高崎市)三ツ寺の電気工事業、石井武夫さん(当時48歳)宅で、石井さんと妻千津子さん(同)、母トメさん(同85歳)が殺害された事件。県警は、石井さんの長女にストーカー行為を繰り返していたとされる元トラック運転手、小暮洋史容疑者(53)を殺人容疑で全国に指名手配した。有力情報の提供者に原則300万円を上限に報奨金を支払う警察庁の「捜査特別報奨金制度」の対象事件に指定されている。